

## 社会人になった皆さんへ

今年は「ゲゲゲの鬼太郎」の作者、水木しげる生誕百周年にあたる。すでに先月3月6日の誕生日に郷里鳥取では生誕祭が執り行われ、7月には明治座で舞台「ゲゲゲの鬼太郎」上演が予定されるなどその人気は衰えることを知らない。

私は週刊少年マガジンからの付き合いで、当時のタイトルは「墓場の鬼太郎」であった。1960年から1964年にかけての貸本出版社時代(兎月書房、三洋社、佐藤プロ、東考社)は知らないが、どこかで復刻版を読んだような気がする。

寺山修司の著書「馬敗れて草原あり」にこんなくだりがある。以下、再録してみる。



水木しげるの「サラリーマン死神」では、一人の男が出世につぐ出世で部長にまでなるのだが、ある日突然背中が痛くなる。医者に行っても、原因がわからず、夜そと家を抜け出して「易断」に見てもらいに行く。すると、易者はそれは「イタミ」ではなく「ネタミ」だというのである。ネタミは、その原因を取り除かねば去らないといわれて、彼は会社の役職を全部捨てて、平社員にもどる。ところが、平社員にもどった日から、猛烈な下痢が始まる。

何による中毒か、医者に行っても見てもわかんない。そこでもう一度、易者のところまで見てもらいに出かけると、易者は世にも奇怪な顔をしかめて、ああそれは「中毒」ではなくて「気の毒」だ、と教えてくれる。あんまり落ちぶれたので、自分で自分の「気の毒」にあたったというわけである。かわいそうに、サラリーマンはそのまま気の毒で死んでしまう。このマンガを支配している死神は、いわば他人志向の強い現代社会である。誰かが出世することは、他の誰かが出世しないということであり、幸と不幸とは、社会の中でシーソーゲームをくりかえしているというわけなのだ。



ならば社会のシーソーゲームにかかわらなければ平安は保てそうだが、そんな生き方は現実的ではあるまい。そこで水木しげるの「幸福の七カ条」を掲げておきたい。

- 第一条 成功や栄誉や勝ち負けを目的に、ことを行っはいけない。
- 第二条 しないではいられないことをし続けなさい。
- 第三条 他人との比較ではない、あくまでも自分の楽しさを追求すべし。
- 第四条 好きの力を信じる。
- 第五条 才能と収入は別、努力は人を裏切ると心得よ。
- 第六条 なまけ者になりなさい。
- 第七条 目に見えない世界を信じる。

4月、社会への門出を迎えた方も多いことでしょう。幸多かれ。

「新聞に載らない内緒話」 <http://www.nikkansports.com/general/column/naisyo/news/>

※上記のHP(ホームページ)からの原稿の転載はご遠慮ください。

あなたの進学を応援します

### 朝日奨学会 首都圏制度募集

夜間・通信も大歓迎!

- Point 1 返済不要の奨学金を支給  
教材費の支給は朝日だけ
- Point 2 毎月支給の給料で生活も安定
- Point 3 家賃0円  
冷暖房完備の個室を無料で提供

朝日奨学会

〒104-0045 東京都中央区築地4-5-14  
TEL: 0120-127-733 (平日10:00-18:00)  
WEB: [www.asahishogakukai.or.jp/](http://www.asahishogakukai.or.jp/)



累計500万冊突破

## 天声人語

書き写しノート

ノートは通常版、学習用、脳トレ版、英文字版、英訳版の全5種類

書き写すだけで、知っている言葉が増え、文章力がつく!

■通常版/A4判 定価220円(税込) 1カ月分  
■発行・編集 朝日新聞社

天声人語ノート

▶ASA(朝日新聞販売所)でお求めいただけます。